



JETRO

第2回アフターコロナに向けた取組に関する報告会（意見交換会）

共催：ブラジル日本商工会議所、ジェトロサンパウロ

協力：在サンパウロ日本国総領事館



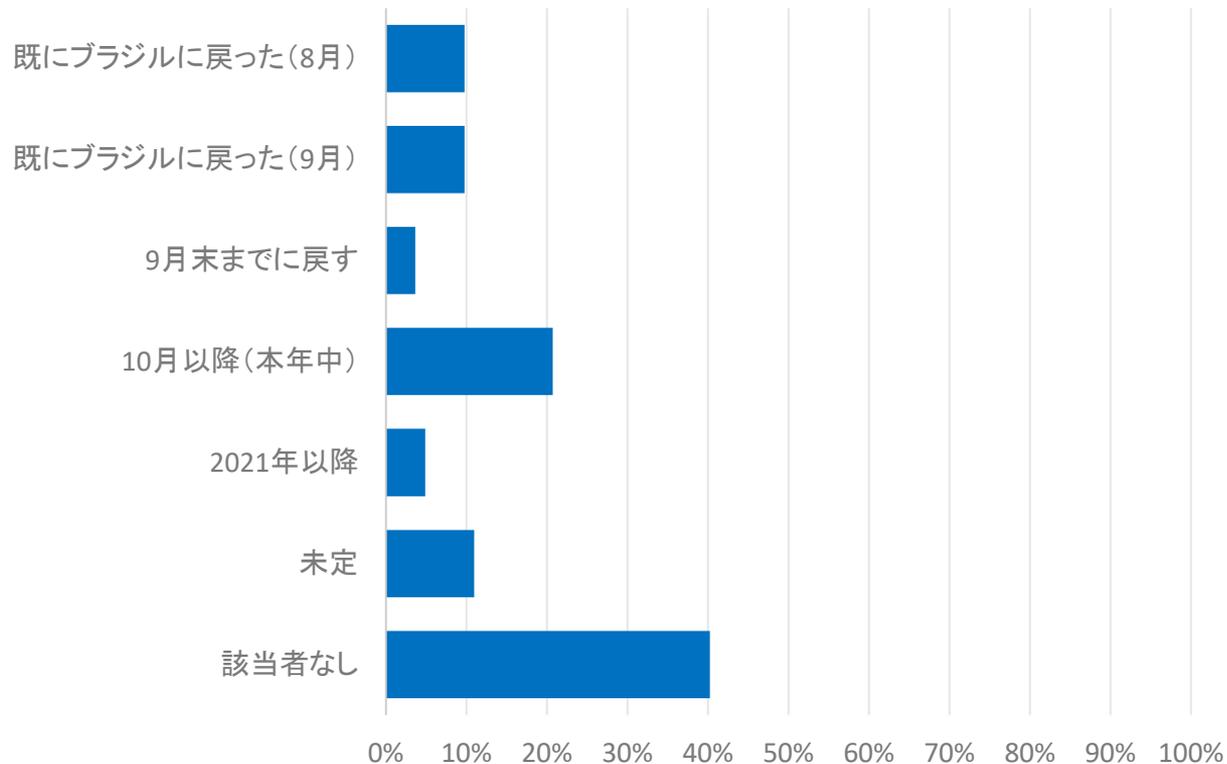
渡航・オフィス再開等に向けてのアンケート

2020年9月30日

※こちらは2020年9月25日~28日にかけて会員企業様に向けて実施したアンケートの回収結果となります。

P2: 一時退避駐在員が帰国された（される）タイミングについてお聞かせください。（一つ選択）

回答数: 82 スキップ: 0



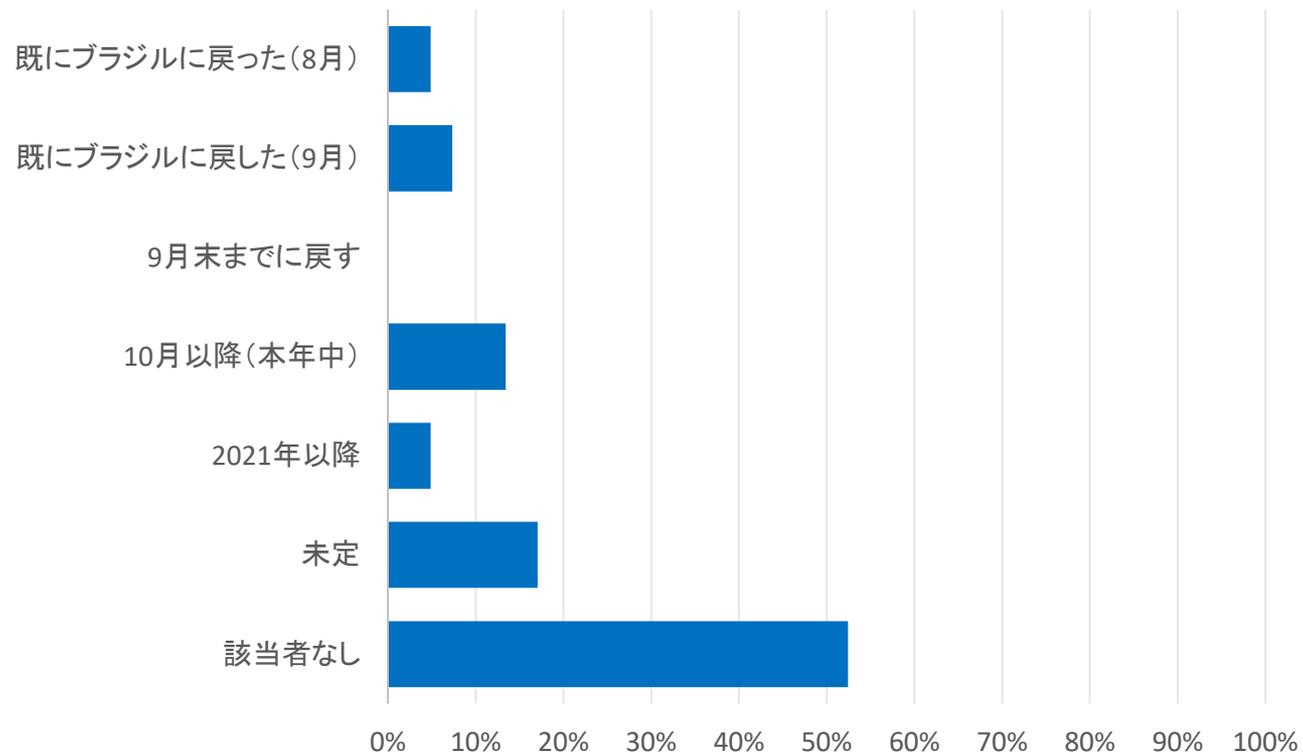
P2: 一時退避駐在員が帰国された（される）タイミングについてお聞かせください。（一つ選択）

回答数: 82 スキップ: 0

OPÇÕES DE RESPOSTA	RESPOSTAS	
1) 既にブラジルに戻った (8月)	9.76%	8
2) 既にブラジルに戻った (9月)	9.76%	8
3) 9月末までに戻す	3.66%	3
4) 10月以降 (本年中)	20.73%	17
5) 2021年以降	4.88%	4
6) 未定	10.98%	9
7) 該当者なし	40.24%	33
TOTAL		82

P3: 一時退避駐在員の帯同家族が帰国された（される）タイミングについてお聞かせください。（一つ選択）

回答数: 82 スキップ: 0



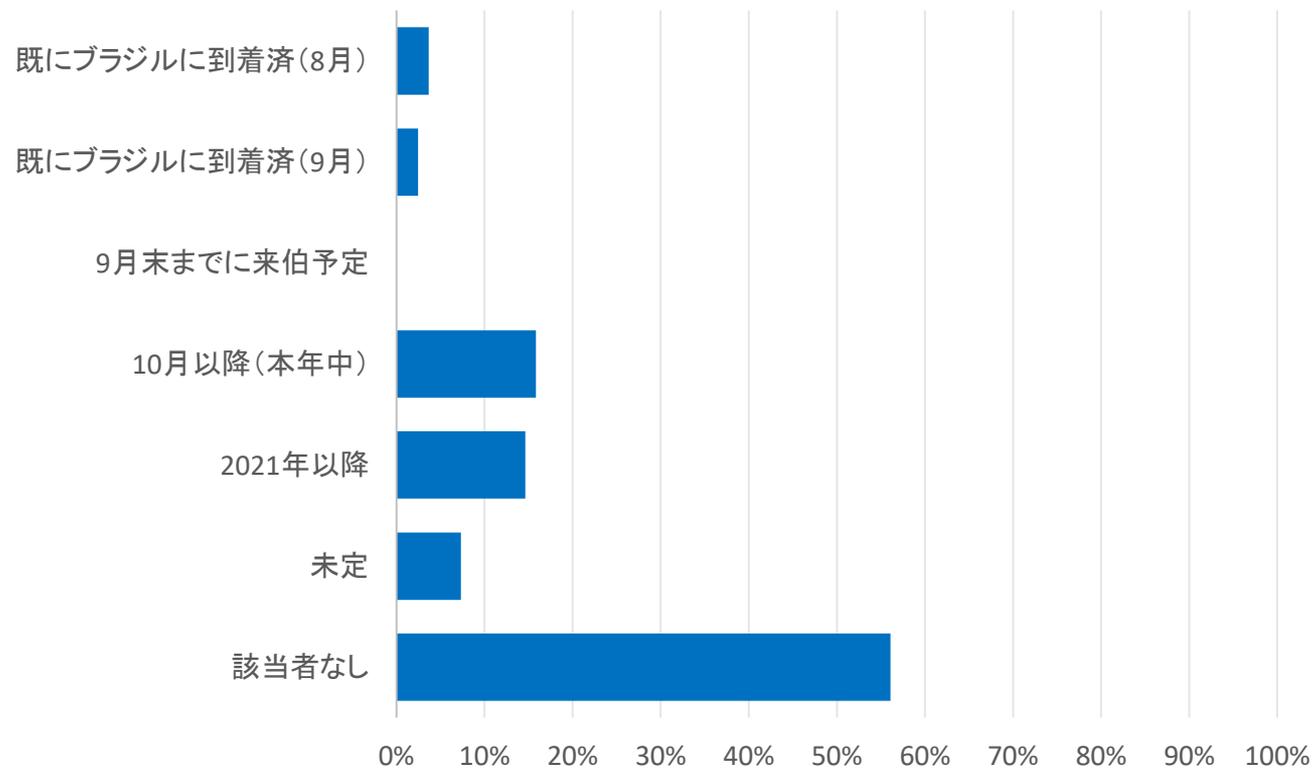
P3: 一時退避駐在員の帯同家族が帰国された（される）タイミングについてお聞かせください。（一つ選択）

回答数: 82 スキップ: 0

OPÇÕES DE RESPOSTA	RESPOSTAS	
1) 既にブラジルに戻った (8月)	4.88%	4
2) 既にブラジルに戻した (9月)	7.32%	6
3) 9月末までに戻す	0.00%	0
4) 10月以降 (本年中)	13.41%	11
5) 2021年以降	4.88%	4
6) 未定	17.07%	14
7) 該当者なし	52.44%	43
TOTAL		82

P4: 新規赴任者の来伯タイミングについてお聞かせください。（一つ選択）

回答数: 82 スキップ: 0



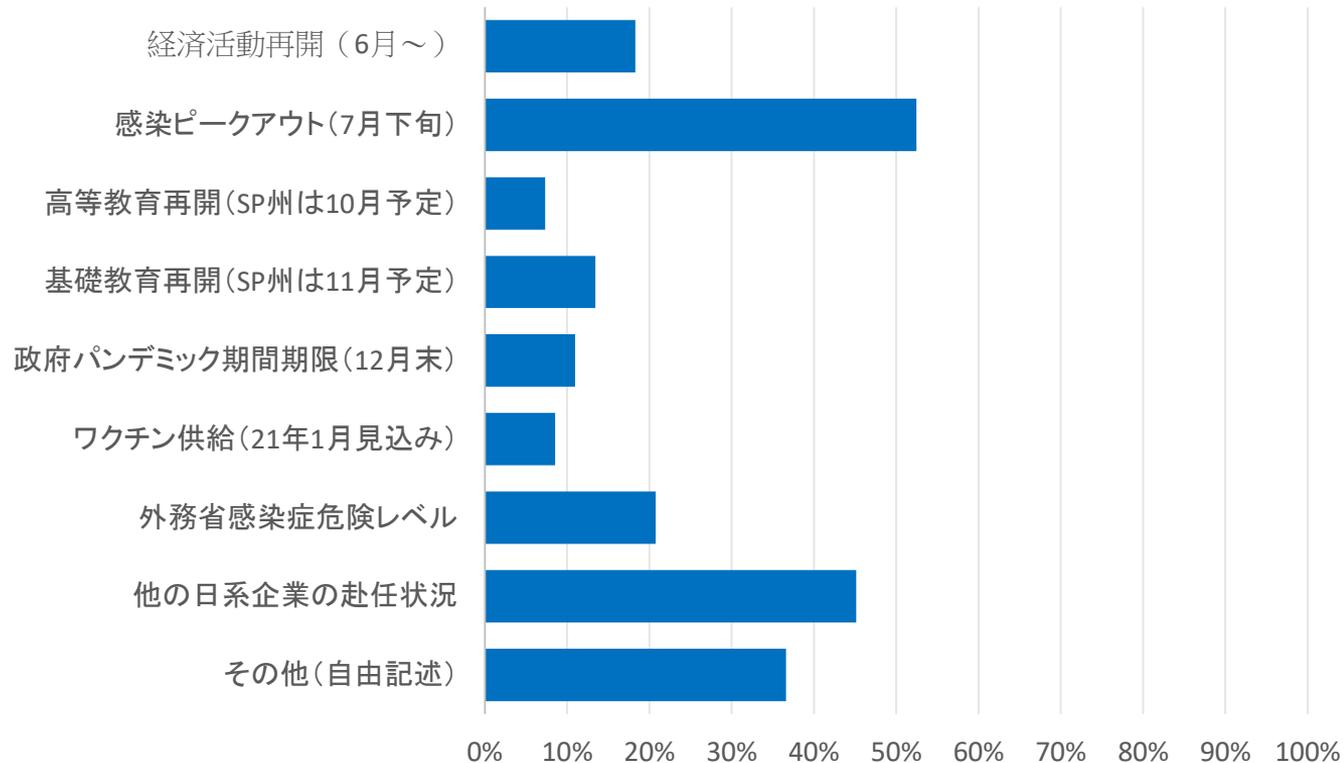
P4: 新規赴任者の来伯タイミングについてお聞かせください。（一つ選択）

回答数: 82 スキップ: 0

OPÇÕES DE RESPOSTA	RESPOSTAS	
1) 既にブラジルに到着済 (8月)	3.66%	3
2) 既にブラジルに到着済 (9月)	2.44%	2
3) 9月末までに来伯予定	0.00%	0
4) 10月以降 (本年中)	15.85%	13
5) 2021年以降	14.63%	12
6) 未定	7.32%	6
7) 該当者なし	56.10%	46
TOTAL		82

P5: 一時退避の駐在員の戻された（戻される）タイミング、新規赴任者の赴任タイミングとして判断・決定なされる判断基準は何でしょうか。（複数回答可）

回答数: 82 スキップ: 0



P5: 一時退避の駐在員の戻された(戻される)タイミング、新規赴任者の赴任タイミングとして判断・決定なされる判断基準は何でしょうか。(複数回答可)

回答数: 82 スキップ: 0

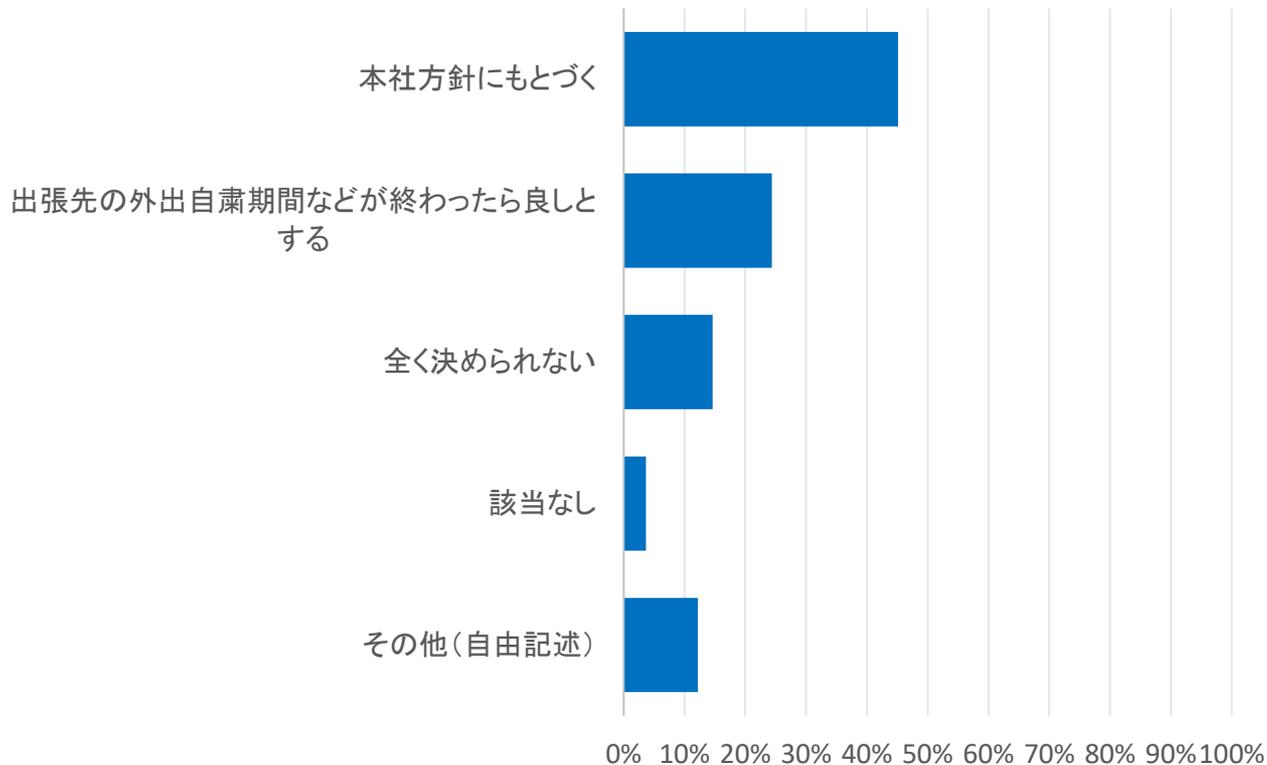
OPÇÕES DE RESPOSTA	RESPOSTAS
1) 経済活動再開 (6月～)	18.29% 15
2) 感染ピークアウト (7月下旬)	52.44% 43
3) 高等教育再開 (SP州は10月予定)	7.32% 6
4) 基礎教育再開 (SP州は11月予定)	13.41% 11
5) 政府パンデミック期間期限 (12月末)	10.98% 9
6) ワクチン供給 (21年1月見込み)	8.54% 7
7) 外務省感染症危険レベル (レベル3 渡航中止勧告⇒レベル2 不要不急の渡航を止めて下さい)	20.73% 17
8) 他の日系企業の赴任状況	45.12% 37
9) その他 (自由記述)	36.59% 30
Total de respondentes: 82	

その他(自由記述)

- ・現地医療機関の受入れ体制や医療療機関(ICU)の満床率など。
 - ・上記記載の要素を総合的に判断。
 - ・本社による海外出張禁止措置が解除された時。
 - ・海外を含む大手企業の動向。
 - ・会社経営状況。
 - ・日本でのブラジル時間帯勤務による健康状態悪化。
 - ・事業上の優先度。
 - ・会社全体としての配置換え計画のスケジュールによる。
-

P6: 出張のルールについて見直しをされているかと存じます。どのようなタイミングになったら出張を認めますか。(一つ選択)

回答数: 82 スキップ: 0



P6: 出張のルールについて見直しをされているかと存じます。どのようなタイミングになったら出張を認めますか。（一つ選択）

回答数: 82 スキップ: 0

OPÇÕES DE RESPOSTA	RESPOSTAS	
1) 本社方針にもとづく	45.12%	37
2) 出張先の外出自粛期間などが終わったら良しとする	24.39%	20
3) 全く決められない	14.63%	12
4) 該当なし	3.66%	3
5) その他（自由記述）	12.20%	10
TOTAL		82

その他(自由記述)

- ・出張先(当局と訪問先双方)の受け入れ確認と、出張目的(訪問せねばならない案件か)次第。社内での出張申請もそれに対応する。
- ・海外出張については、外務省発表の感染症危険レベルが「2」以下になることが一つの目線と考えている
- ・出張の必要性・重要性に基づく
- ・ワクチン供給開始後

下線部付きは複数回答があったもの

P7: オフィスを含めた適性運用による生産性向上・コスト見直しの独自ルール・工夫・アイデアなどシェアできる取組があればぜひ教えてください。例)新規アプリケーション導入、新福利厚生制度など(自由記述)

下線部付きは複数回答があったもの

回答数: 40 スキップ: 42

1. リモートオフィスの継続・推奨

- ・ Teams、One Drive、Share Pointなどのソフトツールやクラウドを導入。
- ・ 毎月BRL100の在宅勤務手当を支給開始。
- ・ 自宅のインターネットとPC(電気代)使用経費としてR\$90/月支給など。
- ・ 完全テレワーク社員(労働時間制約なし)と完全事務所勤務社員(労働時間制約)の2分類の中間的な勤務体制の構築を検討。
- ・ ローテーション制、フレックスタイム制(コアタイム制)の導入
- ・ リモートワークは定着化させる予定で 出社率を40%以下に留まると思料。
- ・ サテライトオフィス化、在宅ワークリテラシー、巧に休む健康管理。
- ・ テレワークのためのインフラ強化による積極的なテレワークの推奨

2. その他

- ・ 事務所自体の物理的空間の縮小。事務所移転。
 - ・ 従業員評価制度の見直し(検討中)。
 - ・ 固定費削減と変動費調整。
 - ・ 電子署名システムの導入。
 - ・ 現地化の推進・新規アプリケーションの導入(SFA)。
 - ・ 結局、在宅勤務は過去の遺産で出来ているだけ。なにをやろうが、出社し顔を合わせて行う業務に勝るものは無い。
 - ・ 社員教育制度の充実。
-

P8: オフィススペース・配置の見直しによる生産性向上・コスト見直しの独自ルール・工夫・アイデアなどシェアできる取組があればぜひ教えてください。(自由記述)

回答数: 32 スキップ: 50

下線部付きは複数回答があったもの

- ・事務所移転
- ・フリーアドレスによるスペース削減
- ・フリーアドレスを採用し、当面オフィス閉鎖
- ・WEB会議推奨
- ・グループ会社との事務所統合
- ・出勤率を50%以下とする。(事前申請)
- ・**会議室の定員設定、小会議室を執務スペースとして活用**
- ・在宅勤務の日を増加
- ・他社との同床化検討、コワーキングスペースの活用検討
- ・スペースやオフィス賃料は落とす予定。
- ・現地化を推進し、駐在員の人員を少なくする事を検討。
- ・配置見直し

P9: リモートオフィスにもとづく会社のルール・コミュニケーション方法・管理方法についての独自ルール・工夫・アイデアなどシェアできる取組があればぜひ教えてください。(自由記述)

下線部付きは複数回答があったもの

回答数: 34 スキップ: 48

1. 会社のルール・管理方法

- ・従業員の時間管理はPCへのLogin / Logout timeで管理すると共に、上長との朝夕の確認を取る事としている。
- ・オフィス出社や訪問には上司の許可が必要。
- ・電子署名システム導入
- ・週1日は会社に出社
- ・定期的な全体会議の実行
 - ・間接者へのホームオフィスの積極的奨励。
- ・IT面での労働管理

2. コミュニケーション方法

- ・安否確認等、朝礼・夕礼を定着。週一回は全社員を集めて対話の場を設置。
- ・Whatsapp、Teamsなどのアプリ
- ・定期的な仕事と関係ない会議の実施
- ・コミュニケーションサイトの設立（検討中）

3. 従業員への配慮

- ・業務に適した椅子、机、PCの貸与、食費補助
 - ・従業員の不安状況等を解消する為のメンタルケアに対して検討中。
 - ・一律ではなく、業務の形態や家庭の事情や状況にもとづいて判断
-

P10: オフィスの公共交通機関の利用方法・利用ルールについての独自ルール・工夫・アイデアなどシェアできる取組があればぜひ教えてください。(自由記述)

回答数: 36 スキップ: 46

下線部付きは複数回答があったもの

- ・外出自粛令期間中の出勤について自家用車（駐車場代負担）、タクシー、Uber（費用会社負担）の使用を許可
- ・Flex Time Systemにより、混雑時を避ける様にする。
- ・会社が通勤用ワゴン車を準備。
- ・公共交通機関利用の場合は、会社到着時にアルコール噴霧での衣類と肌の殺菌とマスクの殺菌の遂行
- ・通勤用バスの配車増（密を避けるため）。乗車人数把握のための予約アプリ提供。
- ・当面、公共交通機関を使っての出勤は控える
- ・自家用車の使用を許可。駐車場代全額負担。

P11: 衛生プロトコール以外に取り入れている入社時の具体的対策の独自ルール・工夫・アイデアなどシェアできる取組があればぜひ教えてください。(自由記述)

回答数: 27 スキップ: 55

- ・出勤時に非接触体温計で体温測定、37.5度4以上は入館不可、アルコール消毒、マスク着用、窓をオープン。
- ・公共交通機関による通勤は当面、差し控える。
 - ・通勤バス内座席指定など
- ・会社独自のオフィス復帰フェーズを制定し、フェーズにより入社人数制限、活動制限を規定。
- ・社員食堂が密にならないよう昼食時間の分散化。座席間のパーティション設置。
- ・事務所出社は予約・承認制。事務所内はソーシャルディスタンスの確保。
- ・オフィスでの会議は資料の読み込みやプレゼンをする機会では無く、それは事前にリモートで済ませ、オフィスではそれをベースとした次のステップ案を出し合い、まとめていく場にしたい。

P12: 従業員が感染したときの会社による対策や支援についての独自ルール・工夫・アイデアなどシェアできる取組があればぜひ教えてください。(自由記述)

回答数: 27 スキップ: 55

- ・PCR陰性結果が出るまで治療に専念する為、休暇の取得。
- ・人事部に即報告。その後COVID対策本部で対策状況を確認。
- ・企業医療保険、生命保険の適用。
- ・産業医によるリモート診療、医療機関との連携。
- ・受け入れ可能な病院紹介と完治までの健康状態の確認
- ・感染した場合は、他の従業員とその家族全員の検査と14日間の自主隔離実行。

・従業員プライバシー保護前提でのBoletin UPDATE管理(感染者・濃厚接触者)・幹部共有。従業員および同居家族の感染が出た際には、一定期間の自宅待機を実施し、感染拡大予防を実施。また、少しでも体調に不安のある社員は、自宅待機や病院での診察を要請。

・HRと連携し、該当者に必要なサポート・フォローを実施。

・日本人出向者の感染の場合は、拠点長より日本の家族へ手紙を出す。
